

芦北町の教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価結果報告書  
(令和4年度実績)

芦北町教育委員会

## 目 次

○芦北町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価取りまとめ表	1
------------------------------------	---

### ○点検及び評価結果報告書

#### 【教育課】

1 教育委員会運営事業	3
2 教育研究指定校等支援事業	4
3 学力等検査事業	5
4 英語検定受検支援事業	6
5 小中学校情報通信教育推進事業	7
6 漢字検定受検支援事業	8
7 指導主事配置事業	9
8 語学指導事業	10
9 論語教育推進事業	11
10 教職員等健康診断事業	12
11 各種大会等参加費助成事業	13
12 学校給食センター管理運営事業	14
13 子ども自立支援室及び特別支援教育事業	15
14 準要保護児童生徒就学援助事業	16
15 スクールバス運行事業	17
16 通学費補助事業	18
17 小中学校維持管理事業	19
18 学校施設災害復旧事業	20
19 奨学資金貸付事業	21
20 新型コロナウイルス感染症対策支援事業	22
21 教育連携連絡協議会事業	23
22 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）事業	24

#### 【コミュニティセンター課】

23 社会教育委員運営事業	25
24 生き生き大学運営事業	26
25 青少年育成町民会議支援事業	27
26 演奏家派遣事業	28
27 町民講座運営事業	29
28 成人式開催事業	30

29	家庭教育支援事業	31
30	コミュニティセンター管理運営事業	32
31	子どもの広場管理運営事業	33
32	図書館管理運営事業	34
33	放課後子ども教室推進事業	35
34	地域学校協働本部事業	36
35	人権教育推進事業	37
36	中央公民館運営事業	38
37	地区公民館施設整備支援事業	39

【スポーツ・文化振興課】

38	演能会開催事業	40
39	町誌編さん事業	41
40	佐敷城跡調査事業	42
41	文化財保護審議会運営事業	43
42	文化財調査事業	44
43	文化財維持管理事業	45
44	佐敷東の城跡調査事業	46
45	文化財災害対策維持管理事業	47
46	文化振興事業	48
47	文化祭開催事業	49
48	星野富弘美術館運営事業	50
49	スポーツ振興支援事業	51
50	温泉プール管理運営事業	52
51	総合型地域スポーツクラブ活動支援事業	53
52	体育イベント開催事業	54
53	芦北町スポーツ協会支援事業	55
54	スポーツ推進委員協議会運営事業	56
55	体育施設管理運営事業	57
56	地域資源活用総合交流促進施設管理運営事業	58

芦北町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価取りまとめ表

【教育課】

【（ ）内は前年の評価】

理念：「温故創新」古きを学び知り、生きる力を培い、新しさを創る

学校教育目標：徳育を根底に知育・体育を総和した基礎・基本の修得による学力の向上に努め、我が国と郷土及び国際社会に貢献できる人間の育成を図る。

具現化方針	評価	教育委員会事務局評価					総合評価	教育委員会評価
		事業のニーズ	町関与の範囲	達成度	効率性	公平性		
教育委員会運営事業		A	A	B	A	A	A	A
1 「知」・・・学力の充実と向上								
教育研究指定校等支援事業		A	A	B	B	A	A	A
学力等検査事業		A	A	B	A	A	A	A
英語検定受検支援事業		A	B	B	B	A	B	B
小中学校情報通信教育推進事業		A	A	B	B	A	A	A
漢字検定受検支援事業		A	B	B	B	A	B	B
指導主事配置事業		A	A(B)	A	B	A	A	A
2 「徳」・・・豊かな心を育む教育の推進								
語学指導事業		A	A	B	B	A	A	A
論語教育推進事業		B	A	B	B	A	B	B
3 「体」・・・健康・体力づくりの推進								
教職員等健康診断事業		A	A	B	B	A	A	A
各種大会等参加費助成事業		A	A	B	B	A	A	A
学校給食センター管理運営事業		A	A	B	A	A	A	A
4 不登校対策及び特別支援教育の推進								
子ども自立支援室及び特別支援教育事業		A	A	B	B	A	A	A
5 安全・安心な教育環境の整備推進								
障害保護児童生徒就学援助事業		A	A	B	A	B	A	A
スクールバス運行事業		A	A	A	B	B	A	A
通学費補助事業		A	A	A	B	B	A	A
小中学校維持管理事業		B	A	B	A	A	A	A
学校施設災害復旧事業		A	A	A(B)	A	A	A	A
奨学資金貸付事業		A	B	A	A	A	A	A
新型コロナウイルス感染症対策支援事業		A	A	A	B	B	A	A
6 社会に関わられた教育課程の実現								
教育連携連絡協議会事業		A	B	A	B	A	A	A
学校運営協議会（コミュニティ・スクール）事業		B	B	B	A	A	B	B

【コミュニティセンター課、スポーツ・文化振興課】

社会教育目標： 学校・家庭・地域社会を調和した生涯学習の充実を図る中で、伝統の上に創造を、秩序の中に進歩を希求する姿勢を醸成する。

具現化方針	評価	教育委員会事務局評価					総合評価	教育委員会評価
		事業のニーズ	町関与の範囲	達成度	効率性	公平性		
<b>1 生涯学習の推進</b>								
社会教育委員運営事業		A	A	B	B	A	A	A
生き生き大学運営事業		B	B	B(C)	C	B	B	B
青少年育成町民会議支援事業		B	A	B(-)	B	B	B(-)	B(-)
演奏家派遣事業		A	A	A	B	B	A	A
町民講座運営事業		A	A	B(C)	B	B	B	B
成人式開催事業		A	A	A	A	A	A	A
家庭教育支援事業		A	B	B	A	A	A	A
コミュニティセンター管理運営事業		A	A	B	B	B	B	B
子どもの広場管理運営事業		A	A	B(C)	B	B	B	B
<b>2 読書活動の推進</b>								
図書館管理運営事業		A	A	A	B	B	A	A
<b>3 学校・家庭・地域の連携推進</b>								
放課後子ども教室推進事業		A	A	B(C)	B	B	B	B
地域学校協働本部事業		A	B	C	A	A	B	B
<b>4 人権教育の推進</b>								
人権教育推進事業		A	A	-	B	A	-	-
<b>5 公民館活動（地域活動）の充実</b>								
中央公民館運営事業		A	B	B(-)	B	B	B(-)	B(-)
地区公民館施設整備支援事業		B	A	B	B	B	B	B
<b>6 歴史・伝統文化の尊重</b>								
演能会開催事業		A	A	-	B	B	-	-
町誌編さん事業		A	A	B(C)	B	A	A(B)	A(B)
佐敷城跡調査事業		A	A	B	A	A	A	A
文化財保護審議会運営事業		B	A	B	A	A	A	A
文化財調査事業		A	A	A	B	A	A	A
文化財維持管理事業		A	A	B	B	A	A	A
佐敷東の城跡調査事業		B	A	A(-)	B(C)	B	B(-)	B(-)
文化財災害対策維持管理事業		A	B(A)	C(A)	A	A	B(A)	B(A)
<b>7 文化芸術活動の推進</b>								
文化振興事業		A	A	B	A	B	A	A
文化祭開催事業		A	A	B(-)	B	B	B(-)	B(-)
<b>8 星野富弘美術館の充実</b>								
星野富弘美術館運営事業		B	A	A	B	B	B	B
<b>9 生涯スポーツの推進</b>								
スポーツ振興支援事業		A	A	B	B	B	B	B
温泉プール管理運営事業		A	A	B	B	B	B	B
総合型地域スポーツクラブ活動支援事業		B	B	B	B	B	B	B
体育イベント開催事業		A	A	B(-)	B	B	B(-)	B(-)
芦北町スポーツ協会支援事業		A	B	B	B	B	B	B
スポーツ推進委員協議会運営事業		A	B	B	B	B	B	B
体育施設管理運営事業		B	A	B	B	B	B	B
地域資源活用総合交流促進施設管理運営事業		B	A	B	B	B	B	B

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針			
事務事業名	教育委員会運営事業		
事業の概要	対 象	教育委員、教育職員及び関係者	
	目指すべき姿	芦北町教育立町の理念の下に設けた「学校教育目標」の実現による「教育立町あしきた」を確立する。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会議の開催（定例会12回、臨時1回）</li> <li>・教育委員会権限下の規則等の制定、改廃</li> <li>・教育関係職員等の人事事務処理</li> <li>・学校運営の支援及び指導</li> <li>・教育委員会権限下の事務事業点検・評価</li> </ul>	
最終予算額	903千円	決 算 額	761,319円
事業の成果と課題	<p>教育委員会議を年間12回開催し、議案12件、報告39件を審議し、承認しました。</p> <p>教育委員会権限下における主要事務事業の点検及び評価作業を実施するとともに、学校訪問や学校研究発表などを通して適宜、指導・助言を行いました。</p> <p>教育を取り巻く環境が複雑・多様化する中で、教育委員会の権限の強化とともに、より主体的な取り組みが求められています。今後も委員会活動の益々の活性化を図ってまいります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 （事業の効率性を高められるか）	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 （事業効果の配分や受益者負担は適切か）	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>定期的な教育委員会会議や、学校訪問、研究発表会への参加など主体的な取り組みが実施され、各学校の教育目標実現に向けて適切な指導助言が行われている。今後も複雑、多様化する中で、各学校の課題解決に向けて寄り添った指導助言をお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担 当 課	教 育 課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	教育研究指定校等支援事業		
事業の概要	対 象	児童・生徒及び教職員	
	目指すべき姿	教職員の意識改革による指導力の強化と併せて児童生徒の確かな学力と心豊かな人間性を持った知徳体の調和のとれた児童生徒を育成する。	
	具体的な事業内容	研究指定校に対し、ICT機器を使った授業の推進や英語教育の推進を行うための活動に助成をおこなう。 ・ICT教育研究指定校 2年目 田浦中学校 ・英語教育研究指定校 1年目 佐敷小学校 2年目 内野小学校	
最終予算額	400千円	決 算 額	400,000円
事業の成果と課題	研究指定校の教職員が、ICT機器を活用し、効果的・効率的な授業を実施することで、生徒の学習意欲を高めることが出来ました。また、生徒が意欲的に活動する場面が多く見られ、事業の進歩がみられました。今後もICT活用によって効果的に学力（思考力・判断力・表現力）を身に付けさせるため、教職員のICT活用能力の向上に対する継続的な指導体制の構築が必要です。 また、英語教育研究指定校では、主体的・対話的な授業を実施することで、児童の豊かな表現力やコミュニケーション能力の向上に努めました。児童が進んで学ぶ姿が多く見られ、事業の効果が見られました。今後はさらに児童の主体的な活動を重視し、基礎・基本の定着を図り、自ら考え、表現する力（日常生活でのコミュニケーション能力）の向上につなげていくことが必要であると考えます。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	教職員の指導力向上をめざして、ICT教育や英語教育の充実をめざした研究指定校での実践から、効率的な授業改善や表現力、コミュニケーション力を高めるための効果が表れている。 今後も一層各学校への浸透を図ってほしい。		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	学力等検査事業		
事業の概要	対 象	児童・生徒	
	目指すべき姿	児童・生徒ひとり一人の基礎学力の現状を把握し、ひとり一人の学習指導に結果を活用することによって、児童生徒の学力のレベルアップを図る。	
	具体的な事業内容	○小学校 ・学力検査・知能検査・スポーツテスト・QU検査 ○中学校 ・学力検査・知能検査・スポーツテスト・QU検査 ・CRT検査（社会・理科）	
最終予算額	2,895千円	決 算 額	2,808,451円
事業の成果と課題	<p>児童生徒の基礎学力の実態把握と改善策の検討資料として活用しました。また、町独自で県学力・学習状況調査の実施に合わせて中学1・2年生に対しても学力検査（社会・理科）を行い、結果を活用して指導方法の改善、学力の向上に取組みました。</p> <p>スポーツテストでは、児童生徒の体力的な実態を把握することで「体」の発達を助長するための参考資料としています。</p> <p>今後は、各検査・テストの結果を最大限活かすため、各教科に応じた工夫を行い、本事業が一過性のものにならないよう、継続的に指導体制の改善を図っていく必要があります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>全国学習状況調査及び町独自の学力検査を行うなど、児童生徒の基礎学力の向上をめざして、意欲的な取り組みが実施されている。また、スポーツテストでも、「体」の発達をめざすために実施後の分析等に活用されている。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		



## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	英語検定受検支援事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の中学校に在籍する生徒	
	目指すべき姿	経済的な負担軽減により受検の機会均等を図り、生徒の英語に対する学習意欲の向上、学力向上を目指す。	
	具体的な事業内容	受検者数・受検級を把握したうえで、各学校からの申請に対し、受検料を補助する。(年度内に受検する1回(1級分)の検定料)	
最終予算額	1,356千円	決 算 額	1,322,700円
事業の成果と課題	<p>平成19年度に開始した事業であり、経済的な負担軽減・受検機会の提供により、英語検定の受検に向けた取組を行い、学習意欲の向上・学力の向上につとめました。</p> <p>令和4年度は、この事業を活用した受検者数は385名でした。1年間で英語検定を受検した受検者(自費受検を含む)のべ447人のうち、合格者は245名、合格率は54.81%でした。中学3年生の3級以上保有者の率は35.11%で、熊本県の中学3年生における英検3級レベル相当以上の取得率の目標値40%を若干下回りましたが、自費で受検する生徒もいるなど、生徒の英語学習意欲の高まりが感じられました。</p> <p>今後も語学指導事業と併せて、英語力強化に向けた取組を推進していきたいと思えます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>英語力の向上をめざして、英検に多くの生徒がチャレンジし、学習意欲の向上に繋がっている。また、さらに自費で受検する生徒もいるなど積極的な姿勢が見られる。</p> <p>今後もさらなる目標値を決めて合格率を高めてほしい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	教 育 課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	小中学校情報通信教育推進事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の小・中学校	
	目指すべき姿	ICT機器を効果的に活用し、町内全体の小・中学校における教育の質、児童生徒の学力及び学習意欲の向上を図る。文部科学省が提唱するICT環境整備方針「GIGAスクール構想」に沿った環境整備を行い、時代のニーズに合った教育を行う。	
	具体的な事業内容	ICT機器の整備（校務用PC、教育用PC、その他ICT機器など）を行う。校務用及び教育用ソフト等の導入によりICT機器を効果的に活用する。ICT機器等について、保守・サポート業務を委託することにより、機器の障害や操作サポート、授業づくりに対応する。	
最終予算額	41,825千円	決 算 額	41,637,166円
事業の成果と課題	<p>令和4年度においては、児童生徒の1人1台のタブレット端末や教職員分のタブレット端末、授業支援用ソフト（ロイロノートスクール）、その他ICT機器のソフトウェア更新や操作サポートを継続し、効果的な活用を推進しています。また、校務支援システム（ゆうnet）を導入したことで、今後は教職員の校務効率化の改善が図られます。</p> <p>今後は、有事の際でも教育の機会を確保できるよう、教育支援（遠隔授業や端末持ち帰り活用など）としての活用について検討してまいります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>児童生徒、教職員のタブレット端末、授業用支援ソフト、ソフトウェアの更新、操作サポートなど効率的な活用が図られている。また、校務支援システムを導入するなど教職員の校務改善が図られている。今後もさらに有事の際の具体的な支援体制も検討してほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	漢字検定受検支援事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の中学校に在籍する生徒	
	目指すべき姿	経済的な負担軽減により受検の機会均等を図り、生徒の漢字及び国語に対する学習意欲の向上、学力向上を目指す。	
	具体的な事業内容	受検者数・受検級を把握したうえで、各学校からの申請に対し、受検料を補助する。(年度内に受検する1回(1級分)の検定料)	
最終予算額	917千円	決 算 額	885,500円
事業の成果と課題	<p>平成25年度から開始した事業であり、経済的な負担軽減・受検機会の提供により、漢字検定の受検に向けた取組を行い、学習意欲の向上・学力の向上につとめました。</p> <p>令和4年度は、この事業を活用した受検者数は385名でした。1年間で漢字検定を受検した受検者(自費受検を含む)のべ454人のうち、そのうち合格者は179名、合格率は39.42%でした。中学3年生の3級以上保有者の率は34.58%で、年々漢字検定受検への意欲の高まりが感じられています。</p> <p>今後は、各学校の実態に合わせ目標値を設定するとともに、個人の学力に応じた目標達成に向けて取組を充実させる必要があります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	各学校の生徒が、意欲的に漢字検定に取り組みその成果が少しずつ表れてきている。合格率はますますであるが、今後もそれぞれに目標値を決めて取り組んでほしい。		
教育委員会評価	B		
担当課	教 育 課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	指導主事配置事業		
事業の概要	対 象	芦北町立小中学校の教員及び児童生徒	
	目指すべき姿	芦北町総合計画（第二次）の基本理念「すべては、次代を担う子どもたちのために」及び芦北町教育大綱の基本理念「温故創新」（古きを学び知り 生きる力を培い 新しさを創る）の実現。	
	具体的な事業内容	若手教師の育成、小中学校間の連携の推進、芦北町の特色を生かした教育の達成に向け、教育委員会と学校間の関係を強化する。	
最終予算額	一千円	決 算 額	一円
事業の成果と課題	<p>令和4年度は、指導主事が中心となり、新たに各中学校区に学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を立ち上げ、それぞれの目標を共有し共通実践を図りました。学校運営協議会と地域学校協働活動事業との一体的推進を図りながら、地域とともにある学校づくりに尽力しました。また、「小中連携における目指す子ども像の系統表」を基に、五者連携の取組を全小中学校で推進することが出来ました。</p> <p>学力面に関しては、若手教師を対象とした授業参観指導を積極的に行い、若手教師の授業力向上を図ったほか、芦北町学力向上部会を中心に町全体で学力向上に取り組む方向を確認しました。結果、熊本県学力・学習状況調査において小学校は県平均、中学校は県平均以上となり、ともに前年度と比較し伸びがみられました。今後は、英語力の向上に向けた小中連携の取組を充実させるとともに、小小連携をより推進することで、更なる若手職員の指導力向上を図ってまいります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>各中学校区で、コミュニティスクールを立ち上げ、地域社会や社会教育と連動した取り組みが行われている。</p> <p>また、若手教師の授業力向上を図るなど、着実に児童生徒の学力向上の結果となって成果が表れている。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「徳」・・・豊かな心を育む教育の推進		
事務事業名	語学指導事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の小中学校に在籍する児童生徒	
	目指すべき姿	外国語指導助手の活用により、外国語の学習意欲を高め、多様な異文化の認識、相互理解、コミュニケーション能力等を身につけ、豊かな心を育むことを目指す。	
	具体的な事業内容	外国語指導助手（3名）を招へいし、全ての小中学校の外国語活動及び英語授業の助手として活用する。 児童生徒の授業の充実に取り組む中で、コミュニケーション能力を培い、自分自身のことを他者へ伝えることが出来る児童生徒の育成を図る。また、外国人指導助手との触れ合いにより、人や文化など他と関わろうとする心を育む。	
最終予算額	15,246千円	決 算 額	15,246,000円
事業の成果と課題	<p>外国語を話す力、聞く力の向上を図ることを目的に、語学指導の経験者など、経験や実績のある高い指導力を持ったアメリカ出身3名を招へいし、質の高い外国語指導を行うことが出来ました。</p> <p>外国人指導助手を活用し、生の外国語に直接触れることで、授業内容の理解が深まり、児童生徒の英語に対する意識が高まりました。「外国のことをもっと知りたい」と思う児童生徒が8割を超え、全国と比較して高い結果となっています。</p> <p>今後の課題は、英語に対する興味関心の高さを、実生活の中で活用しようとする心を育むことです。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>外国語指導助手の活用により、授業内容が深まるとともに、外国のことをもっと知りたいと思う児童生徒が8割を超えるなど確実な授業実践の成果と言える。</p> <p>今後もさらに、実生活に繋がるコミュニケーション能力の向上を期待したい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教 育 課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「徳」・・・豊かな心を育む教育の推進			
事務事業名	論語教育推進事業			
事業の概要	対 象	芦北町内の小中学校に在籍する教職員及び児童生徒		
	目指すべき姿	人としての生き方・在り方について書かれた「論語」について、素読など各校において特色ある取組みを行うことで、徳育の推進を図る。		
	具体的な事業内容	芦北町教育委員会発行の「論語百選」に基づき、各学校において特色ある論語教育を実施する。  令和4年度実績 論語百選の配布 論語指導員講師による論語講演（田浦小・内野小）		
最終予算額	653千円	決 算 額	636,000円	
事業の成果と課題	本町小中学校では、町独自に論語の素読を中心とした「論語教育」を各学校で取り組んでいます。取組内容は、朝の学びの時間での素読、放送委員による校内放送による全校一斉素読、校舎内の廊下や教室への掲示など様々ですが、児童生徒の論語への興味関心を高めることで徳育の推進を図っています。このことにより、論語に触れるきっかけが増え、古典や漢文への親しみが持てるようになるほか、論語の意味を知ることによって、人としての道や考え方に触れ、相手を尊重する心や、決まりを守ろうとする心といった道德心を養うことができ、徳育推進に大きく寄与しています。 課題として、学校活動での時数では制限があるため、更に各学校特色ある取組により児童生徒の興味関心を高めていく必要があります。			
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる	<input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	<input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり	<input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B		
学識経験者意見	町独自の論語教育の取組みは、道德心を高め、古典や漢文への興味関心を示すなど着実に成果が上がっている。取組みの時数には制限があるが、あまり無理のないよう各学校の実態に合わせて取り組んでほしい。			
教育委員会評価	B			
担当課	教育課			

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「体」・・・健康・体力づくりの推進		
事務事業名	教職員等健康診断事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の小中学校に在籍する児童生徒及び所属の教職員	
	目指すべき姿	児童生徒が心身ともに健康な状態で学校生活を送るために自らの成長と健康を把握するとともに、教職員が安心して教育活動に取り組むため、自らの健康について把握することを目指す。	
	具体的な事業内容	医師会等へ業務委託契約し、日程調整等を行い、健康診断を実施し、結果を通知する。必要があれば、委託先の専門家から適切な指導・助言を行ってもらう。	
最終予算額	2,356千円	決 算 額	1,892,935円
事業の成果と課題	<p>児童生徒については、自分の成長と健康について把握することができ、病気の早期治療や予防に役立っています。</p> <p>教職員についても、健康診断により、自身の健康状態を把握することに繋がっています。早期発見を行うことで、治療・療養又は定期的な通院等を行うことができています。近年は心の病気を患う教職員も少なくないですが、メンタルヘルス調査と併せストレス調査も実施しており、自身のストレスに気づきセルフケアなどを通じて不調となることを未然に防止する役目を果たしています。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>児童生徒、及び教職員の健康診断が実施され、病気の早期発見、治療等に生かされている。</p> <p>特に、教職員のメンタルヘルス調査はストレスやセルフケアなど自身の健康チェックに役立っている。</p>		
教育委員会評価	A		
担 当 課	教 育 課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「体」・・・健康・体力づくりの推進		
事務事業名	各種大会等参加費助成事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の小中学校に在籍する各種大会に参加する児童生徒	
	目指すべき姿	各種大会への参加について、参加者輸送費の助成をすることにより、多くの児童・生徒の大会参加・競技力向上を促進する。	
	具体的な事業内容	各種大会へ参加するための民間バス借上げ料について、学校の申請により必要な経費を助成する。	
最終予算額	1,424千円	決算額	985,600円
事業の成果と課題	<p>スポーツ部門・文化部門において参加可能な全ての大会に参加できており、機会均等が図られています。令和4年度の延べ参加者数は362名でした。</p> <p>なお、事業の効率性を高めるために少人数での参加については、スクールバスの利用を行っています。</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、年度当初から中止が決定されていた大会もありましたが、参加可能なすべての大会に参加することができました。</p> <p>予算額と決算額との差額については、当初予定していた大会への参加ができなかったことが決算額減額の理由です。</p> <p>今後は、コロナ禍で運動する機会が奪われていた生徒たちの運動・大会参加機会を確保し、健全で健康な体作りに繋げてまいります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>コロナ禍でも、周りの状況を判断しながら各種大会に362名参加したことは、素晴らしいことである。また少人数での参加にはスクールバスを出すなどの配慮がなされている。</p> <p>今後もさらに、児童生徒が意欲的に参加し競技力の向上をめざしてほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		



## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「体」・・・健康・体力づくりの推進		
事務事業名	学校給食センター管理運営事業		
事業の概要	対 象	児童・生徒、教職員	
	目指すべき姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事について正しい理解と望ましい食習慣を養う。</li> <li>・学校生活を豊かにし、明るい社会性を養う。</li> <li>・食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図る。</li> <li>・食料の生産、配分及び消費について正しい理解を解く。</li> </ul>	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校児童・生徒及び教職員等への給食の提供。</li> <li>・各学校への栄養士による食育指導。</li> </ul>	
最終予算額	73,331千円	決 算 額	70,258,991円
事業の成果と課題	<p>令和4年度から給食調理業務を民間委託したことで、安定かつ継続的に安心して安全給食の提供が実施できました。併せて、適正な管理運営により衛生管理の徹底を図りました。栄養士の町内小中学校等での食育指導では、食事についての正しい知識等を児童生徒に浸透させることができました。</p> <p>今後も引き続き食中毒を出さないように衛生管理を徹底してまいります。</p> <p>また、令和5年度からの給食費会計の公会計化及び児童生徒の給食費無償化へ向けて、条例・規則等の整備及び電算システムの構築を行いました。</p> <p>その他、新型コロナウイルス感染症対策学校給食食材費助成事業補助金を学校給食運営委員会へ交付し、食材費物価高騰による保護者負担の抑制及び給食の質の確保を図りました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>給食調理業務の民間委託化で、安心安全な給食の提供がなされている。また、栄養士の食育指導で各学校食事についての正しい知識と態度が育っている。</p> <p>さらに、給食費無償化に伴う条例・規則及び電算システムの整備が適切に進められている。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教 育 課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	不登校対策及び特別支援教育の推進		
事務事業名	子ども自立支援室事業（自立支援室指導員、不登校対策支援員派遣）及び特別支援教育事業（就学指導委員会、特別支援教育支援員派遣、特別支援教育就学奨励費援助事業）		
事業の概要	対 象	教育的支援が必要な児童生徒	
	目指すべき姿	現在登校できない状態にある児童生徒に自立支援室という集まれる場を確保し、指導員による学習指導等を行い、学校への帰属意識を高める。また、特別に支援が必要な児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な援助を行う。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども自立支援室（週2回開催）における学習指導等</li> <li>・就学指導委員会による専門的知識を有する者の意見聴取</li> <li>・会計年度任用職員（不登校対策支援員・特別支援教育支援員）の派遣</li> <li>・特別支援教育関係機関との連携を通じた支援体制の推進</li> <li>・特別支援教育就学奨励費による経済的援助</li> </ul>	
最終予算額	49,888千円	決 算 額	47,972,483円
事業の成果と課題	<p>不登校や不登校傾向にある児童生徒一人一人の課題が異なるため、学校及び不登校対策支援員との細やかな情報交換が必要になってきます。自立支援室には2名の指導員を配置し、子どもの学習の困難さや意欲低下に丁寧に対応を行っています。</p> <p>また、困り感のある児童生徒（未就学児を含む。）の保護者に対し、就学相談会を開催し、園・学校と情報を共有しました。就学指導委員会においては、関係機関や専門家の意見を聴取し、必要な支援や適切な就学先について審議を行いました。特別支援教育について、保護者だけでなく、祖父母等家族の理解を得ることが課題です。</p> <p>特別支援教育支援員は16名を配置した支援の充実と、専門家による研修会を年2回開催し、知識の向上に努めています。特別支援教育就学奨励費補助金については、特別支援学級に在籍する児童生徒に経済的支援を行っています。事務処理等に遺漏のないように努めます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 （事業の効率性を高められるか）	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 （事業効果の配分や受益者負担は適切か）	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>自立支援の指導員を2名配置し、不登校対策支援員と連携しながら児童生徒の課題解決に向けて熱心な取り組みが実践されている。</p> <p>また、特別支援教育支援員を16名配置するなど、児童生徒の自立をめざした積極的な取り組みが行われている。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進		
事務事業名	準要保護児童生徒就学援助事業		
事業の概要	対 象	経済的な理由により就学が困難な児童生徒（保護者）	
	目指すべき姿	対象者に必要な援助を行うことで、子どもが安心して教育を受けられ、教育の機会均等が図られる。	
	具体的な事業内容	就学援助費の支給 ・学用品費、通学用品費、給食費、修学旅行費、新入学学用品費、校外活動費、卒業アルバム代	
最終予算額	17,625千円	決 算 額	14,321,590円
事業の成果と課題	<p>経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して必要な援助を行うことにより、児童生徒が平等に教育を受けることができます。</p> <p>令和4年度の認定者数は171名で、その内、令和2年7月豪雨災害対応（令和4年度が最終年度）による認定者数は16名です。今後も一人親世帯や不況・失業等、社会情勢の変化に伴い、事業の必要性は増すことが予想されることから、引き続き周知を図る必要性があります。また、新入学や進学前に必要な学用品の購入が出来るよう、新入生については入学前に援助費の支払いを行い、令和4年度より、卒業アルバム代を助成対象とし、小学6年生（18人）と中学3年生（29人）に対し、431,600円の援助を行いました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>経済的困窮状況にある保護者に対して、学用品から修学旅行費、卒業アルバム代などきめ細かい支援給付が実施されている。今後も家庭状況を把握しながら適切な支援をお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	安心・安全な教育環境の整備推進		
事務事業名	スクールバス運行事業		
事業の概要	対 象	小学校5校及び中学校3校	
	目指すべき姿	自宅から学校への遠距離の徒歩通学は、時間的、体力的に児童生徒の負担となり、また、事故や事件等の危険性も高い。その対策として、スクールバスの活用により、児童生徒の通学の負担軽減と安全の確保を図る。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカー10人乗り4台</li> <li>・スクールバス29人乗り17台</li> <li>・人材派遣会社へ運転業務を委託して実施</li> </ul>	
最終予算額	40,793千円	決 算 額	40,284,736円
事業の成果と課題	<p>学校の統廃合が進み、児童生徒の通学距離が長距離となる傾向をみせる中、児童生徒の徒歩による通学は安全確保上厳しい状況下にあります。そのような状況に対応するため、スクールバスの活用を行うことで遠距離通学者の安全な登下校の確保をめざします。また、登下校以外の校外活動や部活動での利用を行うことで更なる利便性を図ることができ、教育行政の機会均等化の実現とそれによる学力向上に貢献することができます。</p> <p>課題としては、利用対象となる児童生徒の範囲の拡充(遠距離通学児童生徒を含む。)を図り、より計画的で効率的な運行の必要性が高まっています。</p> <p>令和3年度末での吉尾小学校閉校による吉尾地区児童のスクールカーも効果的に運用されています。今後は、将来における安全かつ利便性の高い登下校を望む保護者への要望にも可能な限り対応するため、委託業者との連携の強化を図ってまいります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>吉尾小学校の閉校により、スクールカーを増やし配備するなど利用者のニーズに対応した運行がなされている。</p> <p>今後も、委託業者との連携を深めながら運転の安全業務を確実にお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進の確立		
事務事業名	通学費補助事業		
事業の概要	対 象	遠距離通学、公共交通機関利用の通学を行う児童生徒	
	目指すべき姿	遠距離通学に係る経費、公共交通機関を利用した通学に係る経費を補助し、通学距離・手段による負担の格差を解消することで教育の機会均等を図る。	
	具体的な事業内容	民間バス利用通学、鉄道利用通学に要する費用を、対象者個人の申請により補助する。また、小学校4km以上・中学校6km以上の距離を通学するスクールバス非利用者に対し、学校の申請により補助する。	
最終予算額	1,220千円	決 算 額	374,743円
事業の成果と課題	通学に係る費用を補助することで保護者への経済的援助を行い、教育の機会均等が図られています。また、公共交通機関を利用した通学者には通学に係る経費の補助を行っており、公平性が保たれています。		
	遠距離通学費補助金（13人中13人利用） 通学費補助金（13人中8人利用）		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	公共交通機関利用の遠距離通学者に対して、通学のための補助金援助が適切に行われている。 今後も教育機会均等の面からも、負担軽減をお願いしたい。		
教育委員会評価	A		
担 当 課	教 育 課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進		
事務事業名	小中学校維持管理事業		
事業の概要	対 象	町内全小中学校	
	目指すべき姿	学校施設の整備を図ることにより、安全で快適な教育環境を提供する。	
	具体的な事業内容	各小中学校修繕の外、田浦中、佐敷中及び湯浦中におけるトイレ洋式化改修工事、田浦中学校駐車場整備工事、田浦中学校非常階段修繕工事等を実施した。	
最終予算額	158,013千円	決 算 額	142,038,682円
事業の成果と課題	<p>学校施設の改修を行ったことで、安全で快適な教育環境が生み出され、児童生徒は充実した生活を営むことができました。</p> <p>課題としては、建築からかなりの年数が経過して老朽化が進行している校舎及び施設が多く、今後は費用の面から緊急度・優先度を見極めて整備する必要があります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>段階的に、学校施設の改修が行われトイレの洋式化、駐車場の整備、非常階段の改修など実施された。しかし、建物全体が老朽化し、危険な状況にある学校もあり、早急な対策が必要である。児童生徒が安心して学ぶ美的な環境面からもぜひ急いでほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進		
事務事業名	学校施設災害復旧事業		
事業の概要	対 象	被災した学校施設	
	目指すべき姿	令和2年7月豪雨にて被災した学校施設を復旧し、従来の教育環境を取り戻し、子どもたちの学びの場を確保する。	
	具体的な事業内容	令和4年度に実施した復旧工事 佐敷小：駐車場舗装工事、中庭整備工事 佐敷中：1階トイレ改修工事、運動場ダッグアウト改修工事 グラウンド防球ネット修繕	
最終予算額	42,365千円	決 算 額	39,844,691円
事業の成果と課題	<p>令和2年7月豪雨において被災した学校施設については、国庫補助や建物災害共済金を活用し復旧を行いました。</p> <p>令和4年度は、令和3年度から繰越していた町単独工事について事業を進め、令和4年8月に完了しました。</p> <p>このことにより、被災したすべての学校の復旧工事が完了し、従来の学校の姿が取り戻せました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	被災した全ての学校の復旧工事が完了したことは大変喜ばしいことである。行政及び工事関係者等復旧に関わられた多くの皆様に感謝申し上げたい。		
教育委員会評価	A		
担当課	教 育 課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進		
事務事業名	奨学資金貸付事業		
事業の概要	対 象	高等学校、大学及びこれらと同程度の学校に修学する者	
	目指すべき姿	高校、大学等に進学を希望する学徒で、経済的な理由により修学が困難な者に対して奨学資金を貸与し、学習の機会を確保する。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校（同程度の学校に修学する者含む。）1人当たり月額1万5,000円以内の貸付</li> <li>・大学（同程度の学校に修学する者含む。）1人当たり月額5万円以内の貸付</li> <li>・入学準備金50万円以内の貸付</li> <li>・令和4年度貸付者に対する1人当たり月額1万円の給付</li> </ul>	
最終予算額	31,420千円	決 算 額	27,080,000円
事業の成果と課題	<p>事業の成果は、新規申請者9名（大学8名、高校1名）に対して、全員を奨学生として採用し、教育の機会均等に資することができました。継続貸付者は28名で、合計37名を奨学生として採用しています。</p> <p>現年度分の収納率は99.04%、過年度分の収納率は27.92%です。現年過年合わせた令和5年度への滞納繰越額は2,236,500円となり、令和4年度の滞納繰越額2,853,000円から616,500円減少しました。今後も滞納額の縮減に向け、催告状の送付や訪問徴収を実施していく必要があります。</p> <p>また、近年の社会・世界情勢等の影響による様々な物価の高騰に苦しむ就学者の経済的な負担軽減を図り、日常生活や勉学等の支援を行うため、令和4年度貸付者を対象に月額1万円を給付しました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>新規を含めた奨学金の貸与は、学ぼうとする学生の意欲を高め保護者の経済的な負担軽減に大きな役割を果たしている。</p> <p>しかし一方、滞納額が減少したとはいえ、滞納の繰越額がかなり残っていることから、奨学生採用時に、もったときめ細かい面接等が必要である。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		



## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進		
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策支援事業		
事業の概要	対 象	小中学生等の保護者、小中学校	
	目指すべき姿	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、経済的に負担を強いられている家庭を支援する。 また、学校における感染症対策の徹底を図る。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修学旅行費補助金 修学旅行において感染症対策を講じた追加費用分を保護者に助成する。</li> <li>・ 各小中学校感染防止対策備品等購入</li> </ul>	
最終予算額	9,840千円	決 算 額	7,351,800円
事業の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学6年生と中学2年生が実施する修学旅行において、感染防止対策（部屋内定員を減らし、ホテルの部屋数を増やす）を講じた追加費用分を保護者に助成しました。 小学校（5校中2校利用） 中学校（3校中利用なし）</li> <li>・ 各小中学校に感染症対策として体温検知カメラ等備品のほか、各種消耗品や学習保障のための教材等を購入し、感染対策に努めました。</li> </ul>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	新型コロナの感染予防対策に向けて、修学旅行時のホテルの部屋数を増やしたり、体温検知カメラ備品を準備したりするなど適切な安全対策が講じられている。		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	社会に開かれた教育課程の実現		
事務事業名	教育連携連絡協議会事業		
事業の概要	対 象	町内小中学生、保育園児（未就学児）	
	目指すべき姿	保育園等から小学校へ、小学校から中学校へ滑らかに移行できるように、様々な取組みを行い、学校に対する不安や抵抗感をなくすとともに、各機関の連携を図った教育指導等を確立する。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育連携連絡協議会開催</li> <li>・幼保小中連携部会・特別支援教育連携部会の開催</li> <li>・校区別担当者（コーディネーター）会議の開催</li> <li>・各関係機関との交流活動</li> </ul>	
最終予算額	135千円	決 算 額	67,690円
事業の成果と課題	<p>各中学校区において、子どもの発達に段階に応じた「目指す子ども像」の育成の実現及び「幼保小中連携カリキュラム」に沿った共通実践を行い、保護者と連携した取組ができるよう周知を図りました。子どもたちや保護者の就学先への不安や抵抗を無くすることができるよう、更に積極的な交流活動の実施が必要です。</p> <p>また、子どもたちの基本的な生活習慣の改善については、意識の薄い家庭においては保護者を変えることは困難であるため、対象を子どもたちに向け、子どもたち同士で声を掛け合うことや、自分自身の問題として意識させる取組を行いました。</p> <p>子どもには、自分たちが成長して親世代になるという先の視点を持ち、睡眠や食事摂取の必要性など、望ましい基本的な生活習慣のために、今後も継続して働きかけていく必要があります。</p> <p>特別支援教育連携については、引き続き教育的支援が必要な児童生徒に対し、適切な支援ができる体制整備に努め、保護者等理解を図ってまいります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>児童生徒の基本的な生活習慣を高めるには、保護者の意識は非常に大切であることから、連携カリキュラムでの実践は非常に効果的である。しかし一方、意識の薄い家庭や生活習慣に対する考え方の多様性など保護者の意識に差があることから、啓発が難しいと課題として挙げられているからこそ、引き続きの地道で継続的な働きかけがとて重要と言える。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	社会に開かれた教育課程の実現			
事務事業名	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）事業			
事業の概要	対 象	芦北町内の小・中学校		
	目指すべき姿	学校が、保護者や地域住民等と育てたい子ども像や目指すべき教育の目標を共有し、保護者や地域住民等の学校運営への参画や支援・協力を促進することにより、信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成を図る。		
	具体的な事業内容	中学校区毎に、学校運営協議会を設置し、地域の子どもを中心にしながら、子どもたちの成長や学びについて協議を行う。		
最終予算額	107千円	決 算 額	106,460円	
事業の成果と課題	<p>令和4年度より学校評議員制度を発展解消し、新たに中学校単位の学校運営協議会（コミュニティスクール）として運営しています。校区における目標を共有した上で、共通実践を図るために協議会で活発な協議を行っています。</p> <p>校区での課題に対して、委員がそれぞれの立場や経験をもとに意見を出したり、地域学校協働活動とつなげたりしながら解決に向けて進めています。</p> <p>令和4年度は、校区で3回の協議会を実施し、それぞれの中学校区で新たな取組等に繋がっています。</p>			
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる	<input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	<input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり	<input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり	<input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B		
学識経験者意見	<p>令和4年度より学校運営協議会を立ち上げ、中学校区を中心に、校区での課題解決に向けて、意欲な意見交換が行われ地域と学校が協働した取組へと改善が図られつつある。</p> <p>今後は、明確な実践目標と行動計画を作り、学校区の取り組みを広報してほしい。</p>			
教育委員会評価	B			
担当課	教育課			

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	社会教育委員運営事業		
事業の概要	対 象	社会教育委員	
	目指すべき姿	社会教育法第15条に規定される社会教育委員は、教育委員会の諮問に応じ助言や意見を述べるなど、更なる家庭教育や地域教育力の向上を目指す。	
	具体的な事業内容	教育委員会事務局が提示した、社会教育各種計画案の審議、または、社会教育法第17条第3項に規定される教育委員会から委嘱された青少年教育の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者に対し、助言や指導を行う。	
最終予算額	1,093千円	決 算 額	539,976円
事業の成果と課題	<p>5月の委員会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面によるものとなりましたが、年2回（5月・3月）の委員会を開催し、社会教育に関する事業について提言・意見をいただきました。</p> <p>嘉島町で開催された熊本県教育研究大会や、九州ブロック社会教育研究大会（大分市）は、参加人数に制限が設けられたため、数名のみでの参加となりました。</p> <p>今後も研修等に積極的に参加し、職員、委員の資質向上を図っていきます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 （事業の効率性を高められるか）	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 （事業効果の配分や受益者負担は適切か）	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>年2回の社会教育委員会の会議や、熊本県教育研究大会、九州ブロック社会教育研究大会に参加し、職員、委員の資質向上が図られている。</p> <p>今後も研修を通して、家庭教育や社会教育への提言を行ってほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担 当 課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	生き生き大学運営事業		
事業の概要	対 象	高齢者（60歳以上）	
	目指すべき姿	急激に変貌する現代社会にあつて、高齢者が社会に適応し、豊かで生きがいのある生活を創造するための一助となることを目的とする。	
	具体的な事業内容	全地区を対象に受講生を募集し、4地区（田浦・佐敷・湯浦・大野）において毎月1回（年間9回）のクラブ活動（ヨガ、健康料理教室等）を実施している。	
最終予算額	1,085千円	決 算 額	498,317円
事業の成果と課題	<p>令和4年度は、14講座中7講座を開講し感染症対策を行いながら年間を通してクラブ活動を実施することができました。</p> <p>今後も魅力ある事業内容を検討し、受講生の増加を図ってまいります。</p> <p>課題としては、感染症による自粛期間が長引いたために低下している学習意欲をどのように活性化させるかが挙げられます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	C	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>感染症対策を十分に行いながら、ヨガ教室、料理教室など意欲的に実施されている。</p> <p>今後もさらに、受講者のニーズに対応した魅力的な事業内容を展開してほしい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	青少年育成町民会議支援事業		
事業の概要	対 象	町内の青少年	
	目指すべき姿	青少年健全育成町民会議の活動を支援することにより次代を担う青少年の健全な育成を図る。	
	具体的な事業内容	一日一汗運動への青少年の参加要請、夏祭り街頭指導、講演会、青少年発表会の活動へ補助	
最終予算額	300千円	決 算 額	126,805円
事業の成果と課題	<p>新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、一日一汗運動では青少年への参加の呼びかけを自粛、講演会は中止、総会は書面決議で行いました。</p> <p>感染症の状況を見ながら、夏祭り街頭指導、新成人への心の健康啓発等を行いました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>コロナ禍で、予定された事業が中止となるなど、止むを得ない状況化でも、夏祭りの街頭指導や新成人への心の健康啓発など青少年の健全育成の視点から適切な事業が実施されている。</p>		
教育委員会評価	B		
担 当 課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	演奏家派遣事業		
事業の概要	対 象	小学生	
	目指すべき姿	次世代の音楽文化を担う子どもたちが音楽の素晴らしさや楽しさを体感し、豊かな心を育むとともに、住民の心を豊かにし、魅力的なまちづくりを実現する。	
	具体的な事業内容	<p>県立劇場と共催で各小学校に演奏家を派遣し、出前講座を行う。限られた空間で生の音に触れ演奏家との対話を通じて音楽を楽しむことを目的とするもの。</p> <p>各小学校での出前講座終了後は、派遣の演奏家による町民向けの演奏会を開催する。</p>	
最終予算額	620千円	決 算 額	580,000円
事業の成果と課題	<p>各小学校にて、生の演奏に加え、実際に楽器に触れるなどの体験や、児童の意見、感想を聞くなどのコミュニケーションを通じた出前講座を実施しました。</p> <p>その後のアンケートにおいて、音楽が好きになった、興味が出た、また授業をしてほしい等、高評価をいただきました。</p> <p>また、出前講座終了後は、12月に活性化センターにおいて派遣した演奏家による町民向けの演奏会を開き、約170名の参加がありました。</p> <p>【出前講座】 11月実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湯浦小・・・コントラバス      ・田浦小、大野小・・・ソプラノ</li> <li>・内野小・・・ヴァイオリン      ・佐敷小                      ・・・・オーボエ</li> </ul>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>演奏家派遣事業による出前の生の演奏会は、児童の感性を高める上からも望ましい事業である、実際にアンケートにも見られるように音楽への興味が高まっていることがわかる。</p> <p>さらに町民にも演奏会が実施され楽しみに参加されていることがわかる。毎年趣向を凝らした演奏会を期待したい。</p>		
教育委員会評価	A		
担 当 課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	町民講座運営事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	町民の教養の向上、生きがいや仲間づくりのため、町民自らが学習のテーマを持って学習活動に取り組む	
	具体的な事業内容	年間を通して趣味や健康づくり、教養等の講座を実施。 町民講座 28 講座、子ども講座 5 講座の開講	
最終予算額	5, 945 千円	決算額	3, 944, 988 円
事業の成果と課題	<p>1人につき3講座まで受講でき、同じ講座の受講は最大5年間と制限を設けることによって、より多くの方に受講する機会を与えられるよう考慮しています。また、町民講座の受講生などにアンケートを実施し、次年度の講座選定の参考としています。</p> <p>令和4年度は、町民講座28講座中21講座を、子ども講座5講座中2講座を開講し、十分な感染症対策を行いつつ、年間を通して実施することができました。</p> <p>今後は、感染症による自粛期間が長引いたため、ニーズに沿った講座の開設など、学習意欲の向上を図ってまいります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	魅力的な町民講座の開設に向けてアンケートをとり、しっかりとした事業運営計画のもとに、新たな講座も開設するなどニーズに対応した講座が展開されている。コロナ禍での講座運営は苦労も多かったと思われるが、次年度も継続してほしい。		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		



## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	成人式開催事業		
事業の概要	対 象	新成人（令和4年度は平成14.4.2～平成15.4.1生）	
	目指すべき姿	成人式実行委員会を発足し、式典の一部を運営することによって、地域づくりの担い手としての自覚を持ち、成人を全員でお祝いし、活躍してもらう。	
	具体的な事業内容	成人の前日に成人式の開催 令和4年度 対象者 124人	
最終予算額	579千円	決 算 額	501,372円
事業の成果と課題	<p>令和5年1月8日に、芦北町民総合センター（しろやますカイドーム）で開催しました。</p> <p>マスク着用、手指消毒、座席の間隔を空ける等の一般的な感染防止対策に加え、式典の時間短縮、受付時の混雑を回避するため事前に受付カードを送付する等の対策を行いました。</p> <p>昨年に引き続き、感染症対策による制限された中での開催でしたが、混乱もなく、成人者及び保護者からは、いい成人式だった、よかったと喜びの声を多数いただきました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>コロナ感染症対策を十分に行い、また成人者による実行委員会を立ち上げ主体的な成人式が行われている。芦北町の成人式は毎年厳粛の中に、成人者の意識を高める内容が多く「いい成人式だった、よかった」の声はととてもすばらしいことである。</p> <p>次年度以降も、さらに実行委員会主体の成人式を望みたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	家庭教育支援事業		
事業の概要	対 象	町内小・中学校児童生徒、保護者	
	目指すべき姿	家庭の教育力の向上を図るとともに、不登校や問題行動等の未然防止や早期発見、早期対応により、児童生徒の健やかな成長に資する。	
	具体的な事業内容	支援員1名を配置（拠点：コミュニティセンター課） 町内小・中学校を管轄し、各種相談に対応 小・中学校の要請に応じ、「親の学び」講座を開催 家庭教育情報誌の発行	
最終予算額	853千円	決 算 額	829,000円
事業の成果と課題	支援員により保護者等からの様々な相談に対応しました。 また、「親の学び」講座については、新型コロナウイルス感染拡大により、各学校からの要請はありませんでしたが、支援員による少人数での単独講座やZ o o mによる講座などを実施しました。  令和4年度実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 22件</li> <li>・「親の学び」講座開催 5回</li> <li>・家庭教育支援ネットワーク会議 12回</li> <li>・小学生への命の授業 1回</li> </ul>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	保護者のさまざまな相談に、支援員が真摯に向き合い適切な助言が行われている。また、コロナ禍でも、児童へ「命の授業」の講話が実施されるなど、適切な取り組みが行われている。今後もさらに、家庭教育や保護者の意識改革のために、「親の学び」講座を続けてほしい。		
教育委員会評価	A		
担 当 課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	コミュニティセンター管理運営事業		
事業の概要	対 象	コミュニティセンターの施設設備	
	目指すべき姿	コミュニティセンター施設使用者が、安全で快適に利用できるよう施設を管理運営する。	
	具体的な事業内容	各種施設設備（電気保安業務、エレベーター保守等）点検や施設管理、警備や清掃等の業務委託、施設の維持管理	
最終予算額	17,651千円	決 算 額	15,431,284円
事業の成果と課題	<p>芦北町総合コミュニティセンターに係る、各種設備点検、清掃、警備等の業務委託を行い、施設の維持・管理に努めました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の中、公民館、図書館、子どもの広場それぞれの施設において清掃、消毒作業を徹底して行いました。</p> <p>また、入館者には検温、手指消毒、入館カードを記入していただく等感染防止対策を実施しました。</p> <p>○令和4年度の利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館・・・・・・・・10,996人</li> <li>・図書館・・・・・・・・33,173人</li> <li>・歴史資料展示室・・・・・・・・2,353人</li> <li>・子どもの広場・・・・・・・・27,776人</li> </ul> <p style="text-align: center;">利用者の合計 74,298人</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>魅力的な芦北町コミュニティセンターを維持するために、定期的に設備点検、清掃が行われ利用者数の向上が図られている。特に図書館の蔵書数の拡大、利用者の利便性など快適な空間である。</p> <p>今後もさらに、職員が日頃から日常的にできる施設の安全管理と運営と町民のニーズに対応できる職員研修など実地してほしい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	子どもの広場管理運営事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	子どもの広場の利用者が、安全で安心して利用できるよう施設を管理運営する。	
	具体的な事業内容	施設内清掃、遊具の消毒。 各種イベント（季節の行事に合わせたワークショップや木工教室等）の開催。	
最終予算額	9,705千円	決算額	9,241,095円
事業の成果と課題	<p>子どもの広場では、入館者に対して検温、手指消毒、入館カードの記入など新型コロナウイルス感染防止対策を実施するとともに、施設内の清掃、遊具の消毒を行い、利用者の見守りを行うなど安全・安心に配慮して運営しました。</p> <p>また、季節の行事に合わせたワークショップ、赤ちゃん木育寺子屋、木工教室、サンドアートワークショップ、クリスマス&amp;お正月リースづくりワークショップ、芦北高校生に学ぶ山の仕事とSDGs（森林教室）、肥薩おれんじ鉄道とのコラボイベントを実施しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、木育等に関するイベントやワークショップについて縮小や自粛を余儀なくされておりましたが、これまで以上に幅広い方々にご利用いただける施設を目指し、他課等との連携を図りながら、木育等に関するイベントやワークショップを開催していきます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>「子どもの広場」は子ども、保護者にとっても人気があり、木育、木工、サンドアートなどのイベント、クリスマス・お正月リース作りなどのワークショップを開催するなど魅力的事業が展開されている。</p> <p>今後もさらに、衛生面でも十分配慮しながら続けてほしい事業である。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	読書活動の推進		
事務事業名	図書館管理運営事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	教養、調査、読書活動等に資する資料を提供し、知の情報拠点となる。また、子どもの頃から読書・本に親しみ、生涯にわたり学習する意欲を養い心豊かな人間性を育む。	
	具体的な事業内容	図書館システムの活用により、図書等を収集・整理・保存し、利便性の高い利用者サービスを提供すると共に、町立図書館の適切な施設管理をおこなう。また、館内展示やPOP コンテストの実施、学校図書室の環境整備支援等を通じ読書活動を推進する。	
最終予算額	24,761千円	決算額	24,486,419円
事業の成果と課題	<p>図書館では、日本が誇る文化の一つとなったマンガを蔵書に加えるなど、ニーズに合った図書の提供と適切な蔵書管理を行い、心豊かな人間を育む知の情報拠点としての機能を果たしました。</p> <p>利用者数、貸出冊数については、R2.12の新図書館開館以来、増加傾向にあります。</p> <p>利用者数 (R元) 4,463人 (R2) 10,764人 (R3) 30,245人 (R4) 33,173人  貸出冊数 (R元) 10,266冊 (R2) 12,937冊 (R3) 41,607冊 (R4) 45,003冊</p> <p>また、企画展示やホームページ上での情報発信、POP コンテスト、ブックスタート事業、子どもの広場と連携した読み聞かせなどにより、町民が本に親しむ機会を創出しました。</p> <p>さらに、職員の派遣による小中学校図書室運営支援や、授業で制作した美術作品等を図書館内に掲示するなど学校との連携を図りました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>漫画の蔵書数を増やすなど、町民のニーズに対応した取り組みが実施されている。また、企画展やさまざまな情報提供、児童書の充実、読み聞かせ、学校と連携した取り組みなどすばらしい事業が展開されている。利用貸出数も年々向上している。今後はさらに、まだ施設を利用したことがない町民への啓発をぜひお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	学校と地域社会の連携推進		
事務事業名	放課後子ども教室推進事業		
事業の概要	対象	佐敷小学校1年～3年生、湯浦小学校1年～6年生	
	目指すべき姿	地域の方々の協力を得て放課後に子どもの安全で健やかな活動場所を確保し、総合的な放課後対策を実施する。	
	具体的な事業内容	地域ボランティアの協力をいただき湯浦小学校と佐敷小学校で週2回（火曜・木曜）、午後3時から午後5時15分まで勉強やスポーツ、レクリエーション、交流活動を行う。 主な活動内容：学習タイム、ニュースポーツ体験、県ボランティア派遣事業を活用した流木ストラップ作り体験や、読み聞かせ、朗読等。	
最終予算額	1,746千円	決算額	1,579,522円
事業の成果と課題	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、年間を通して事業を実施することができました。 各校1名ずつ（計2名）コーディネーターを配置していますが、地域ボランティアからなるサポーターの確保が今後の課題です。		
教育委員会事務局の評価	【申込者数】	【年間実施回数】	
	・湯浦小 26名	・湯浦小 43回	
	・佐敷小 17名	・佐敷小 39回	
	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
効率性 （事業の効率性を高められるか）	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり	
公平性 （事業効果の配分や受益者負担は適切か）	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり	
総合評価	B		
学識経験者意見	湯浦小、佐敷小ともに、地域のボランティア・コーディネーターの方の協力で学習支援、ニュースポーツ、読み聞かせ、県派遣事業としての流木ストラップ作りなど魅力的な取り組みが実施されている。課題としてサポーターの確保が難しいとあるが、無理のない範囲で継続してほしい。		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	学校と地域社会の連携推進		
事務事業名	地域学校協働本部事業		
事業の概要	対 象	全小・中学校児童生徒	
	目指すべき姿	学校活動の中で学校が必要とするボランティアを派遣し、支援することで学校と地域が連携・協働し、地域ぐるみで子どもたちを育てる。	
	具体的な事業内容	全中学校区において、地域学校協働本部事業（学習支援、安全支援、環境整備支援等）を行う協働本部へ補助金を交付し、活動の推進を図る。	
最終予算額	1,690千円	決 算 額	504,625円
事業の成果と課題	<p>令和3年度までは田浦中学校区で行っていた地域学校協働活動を、令和4年度から町内全中学校区に事業を拡げ実施しました。校区推進員を中心に学校が求める活動へボランティアを派遣し、登下校の見守りや読み聞かせ、校外学習等の付添いなどの支援を行いました。</p> <p>本部会議を年2回開催し、委員から活動計画への助言、意見等をもらい活動に活かしています。</p> <p>今後、さらに事業を推進するため、地域のボランティア確保に向け、広報活動に力を入れていきます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	C	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>令和4年度から全中学校区に地域学校協働活動事業が展開され、校区推進員を中心に、登下校の見守り、読み聞かせなど町内全地域へと活動が広がっていることは喜ばしいことである。</p> <p>今後も、無理のない範囲での継続を期待したい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	人権教育の推進		
事務事業名	人権教育推進事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	人権が尊重され、差別のない社会をつくる。	
	具体的な事業内容	水俣芦北地区人権教育推進協議会への参画 水俣芦北地区人権教育研究大会参加 熊本県人権教育研究大会、部落解放研究集会、人権に関する各種研修会への参加	
最終予算額	62千円	決算額	29,900円
事業の成果と課題	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年、教職員、行政職員等へ参加を呼びかけている県大会や水俣芦北地区大会が中止となりました。</p> <p>人権問題に対する知識や関心と理解を深めるため、今後とも、各種大会等に参加してまいります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	-	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	-	
学識経験者意見	<p>コロナ禍で、県大会及び地区大会の人権教育研究大会が中止されたことは止むを得ないことである。今後はさらに、大会そのもののあり方を検討し、講話やレポート報告だけでなく、実際に体験した児童や大人の人権に対する実践発表、人権に関する劇、音楽など趣向を変えた取り組みを提案したい。</p>		
教育委員会評価	-		
担当課	コミュニティセンター課		



## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	公民館活動（地域活動）の充実		
事務事業名	中央公民館運営事業		
事業の概要	対 象	自治公民館	
	目指すべき姿	地域の活性化や安全・融和等それぞれの地域の特色を生かした創造性豊かな自治公民館活動の充実。	
	具体的な事業内容	公民館運営審議会の開催、公民館研究大会への参加、自治公民館長研修会等の実施を通して自治公民館活動への指導、助言、支援等。また、中央公民館の使用許可、減免申請の受付、物品の貸し出し業務。	
最終予算額	404千円	決 算 額	137,584円
事業の成果と課題	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、公民館運営審議会については、5月は書面によるものとなりましたが、年2回（5月・3月）開催をしました。（社会教育委員会と合同）</p> <p>また、公民館研究大会は、参加人数の制限が設けられたため、職員1名のみ参加をしました。自治公民館役員研修、自治公民館活動研修会等を実施し、各自治公民館長の意識向上と自治公民館活動の活性化を図りました。</p> <p>中央公民館研修室等の貸出については、三密の回避、研修室の消毒、手指消毒などの対策を実施し、安全・安心な利用環境の提供に努めました。</p> <p style="text-align: center;">【研修室利用者数】</p> <p style="text-align: center;">R4年度 10,996人（参考：R3年度 6,638人）</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 （事業の効率性を高められるか）	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 （事業効果の配分や受益者負担は適切か）	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>コロナ禍でも、感染予防対策が講じられ定期的な公民館運営審議会や公民館研究大会など、自治公民館の活性化をめざして着実な研修が実施されている。</p> <p>また、中央公民館研修室の利用状況は前年度と比べて1万人を超えるなど、適切な町担当職員の広報、対応が考えられる。</p> <p>今後もさらに、自治公民館のニーズに対応した運営を期待したい。</p>		
教育委員会評価	B		
担 当 課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	公民館活動（地域活動）の充実		
事務事業名	地区公民館施設整備支援事業		
事業の概要	対 象	自治公民館施設	
	目指すべき姿	自治公民館利用者の利便性を図り、自治公民館の使用を増進し、自治活動の向上を目指す。	
	具体的な事業内容	地区公民館施設整備支援事業によって地区公民館の建設等を行う地域に対して補助金を交付し、自治公民館利用者の利便性や周辺環境を改善する。 補助事業の種類として、町単独で行う地区公民館建設補助金、宝くじの社会貢献を目的としたコミュニティ助成事業補助金がある。	
最終予算額	23,372千円 (R3からの繰越8,000千円)	決 算 額	23,371,000円 (R3からの繰越8,000,000円)
事業の成果と課題	<p>本事業の実施により、自治活動の場所や環境が改善され、自治公民館活動の向上が見込まれます。</p> <p>地区公民館建設補助事業として、令和4年度は、湯浦北公民館ほか2か所の公民館の新築及び修繕等に係る経費に対し、補助金を交付しました。</p> <p>また、令和4年度より新事業としてコミュニティ助成事業を実施し、宮浦公民館の新築及び下白木公民館の備品の整備を行いました。</p> <p>自治公民館は、地区活動の拠点であると同時に、災害が発生した場合の一時避難所となる機会も多いため、地区の要望に寄り添いながら事業を継続していくことが重要です。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	地区公民館建設補助事業として湯浦北公民館他2つの公民館の新築、修繕の補助金交付がなされ、コミュニティ助成事業として宮浦公民館の新築、下白木公民館の備品整備など計画的、適切な補助金の助成が行われている。各自治公民館は災害時の避難場所でもあり、さらに、地区住民の声に耳を傾け、老朽化で、修繕が必要な公民館から対策を講じてほしい。		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	演能会開催事業		
事業の概要	対 象	町民及び近隣市町村住民	
	目指すべき姿	日本固有の伝統芸能である薪能等を鑑賞できる機会を提供し、文化財の愛護及び豊かな感性を育み伝統文化の大切さを感じてもらう。	
	具体的な事業内容	芦北町演能会の実施 ・日本の伝統音楽演奏 ・狂言と能の上演	
最終予算額	0千円	決 算 額	0円
事業の成果と課題	芦北町を代表する文化イベントとして定着していましたが、令和4年度は、令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興を最優先とするため、予算の計上を行いませんでした。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	-	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	-	
学識経験者	豪雨災害復旧のため演能会の中止は止むを得ないことである。次年度からの魅力的な開催を期待したい。		
教育委員会評価	-		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	町誌編さん事業		
事業の概要	対 象	歴史的建造物、土木遺産、古文書、伝統芸能、風習等	
	目指すべき姿	ふるさと芦北に対する理解と愛着を深め、町民文化の向上を図ることを目的とする。	
	具体的な事業内容	『新 芦北町誌』（上下巻 全1,202頁）の刊行(冊子 600部) <ul style="list-style-type: none"> <li>・町誌編さん委員会（1回）</li> <li>・原稿ゲラ確認（7回）</li> <li>・ゲラ確認に伴う協議（6回）</li> </ul>	
最終予算額	30,101千円	決算額	29,995,780円
事業の成果と課題	<p>本事業は新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び令和2年7月豪雨災害の影響を受けたため、事業の繰越を行い、事業最終年度を令和3年から令和4年度に変更しました。</p> <p>令和4年度は各執筆者が作成した原稿の校正作業を中心に作業を行い、11月に校了し、12月12日に冊子600部が納品されました。</p> <p>2月8日の町誌編さん委員会第7回会議で事業経過及び成果物の内容を報告し、同会議をもって編さん委員会を解散しました。</p> <p>なお、3月2日から新町誌の販売を開始しています。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>町誌編さん委員会及び各執筆者によってすばらしい「芦北町町誌」が完成した。コロナ禍で事業繰越の中、大変な作業だったと思われるが、携われた関係者の皆さんに敬意を表したい。</p> <p>今後、それぞれの分野での活用を期待したい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	佐敷城跡調査事業		
事業の概要	対 象	佐敷城跡、佐敷城跡出土物	
	目指すべき姿	佐敷城跡についての理解と関心を町民に深めてもらうとともに、後世に伝える。	
	具体的な事業内容	国史跡佐敷城跡の出土遺物の効率的な整理作業及び調査研究。 ・出土遺物整理（通年） ・歴史資料展示（通年）	
最終予算額	5,650千円	決 算 額	5,467,146円
事業の成果と課題	国史跡佐敷城跡は、町を代表する歴史資産であるため、保存管理計画に基づき適正に管理を進めています。なお、佐敷城跡からの出土遺物は整理作業を行い、特に重要な遺物については歴史資料展示室で展示を行っています。 また、令和2年7月豪雨災害により被災した民家から寄せられた古文書等の歴史資料についてクリーニングやリスト化などの整理作業を行いました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	歴史資産として価値ある国史跡佐敷城跡が、保存管理計画のもとに出土遺物など適切に整理作業されている。また、歴史資料展示室での展示保存は、多くの町民に観てほしい。		
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重			
事務事業名	文化財保護審議会運営事業			
事業の概要	対 象	芦北町文化財保護審議会委員、町内に残る文化財		
	目指すべき姿	町内に残る歴史遺産の保護継承を図り、町民の文化財保護意識の高揚を図る。		
	具体的な事業内容	文化財保護審議会における、町内文化財の保護及び活用に関する指導助言、町指定文化財に関わる審議を行う。 ・文化財保護審議会開催（2回） ・熊本県文化財保護大会（1回） ・文化財保護先進地視察研修		
最終予算額	154千円	決算額	104,620円	
事業の成果と課題	令和4年度は審議会を3回開催して、町指定文化財の管理状況や新規指定候補について現地調査を行いました。 なお、文化財保護先進地視察研修については、新型コロナウイルス感染対策を行ったうえで、熊本城の復興状況確認（座学）やリニューアルされた熊本城天守閣への見学を行いました。			
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる	<input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	<input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり	<input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり	<input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A		
学識経験者意見	年3回の審議会で、町指定文化財の管理状況や新規指定候補の現地調査を行い、熊本城の復興状況の研修及び見学など芦北町の文化財や県の文化財と幅広い研修が行われている。 次年度からは、再び県外での文化財研修も予定されており、文化財保護審議委員の見識が高められると思う。			
教育委員会評価	A			
担当課	スポーツ・文化振興課			

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	文化財調査事業		
事業の概要	対 象	歴史的建造物、土木遺産、古文書、伝統芸能、風習等	
	目指すべき姿	地域の歴史を解明し、町内外の方に地域の歴史に対する理解を深め、町民の文化財保護意識の高揚を図る。	
	具体的な事業内容	周知の埋蔵文化財包蔵地内における開発行為に対し、事前調査及び調整を行う。 また、町内に残る歴史的建造物や古文書、遺跡、伝統芸能、風習など貴重な各種文化遺産や地名等について調査を行う。	
最終予算額	144千円	決 算 額	18,544円
事業の成果と課題	<p>令和4年度は、事業者からの依頼による開発行為に伴う埋蔵文化財確認を126件実施し、そのうち10件が周知の埋蔵文化財包蔵地内でした。</p> <p>周知の埋蔵文化財包蔵地内の案件については試掘調査を行うことなく、設計段階での調整により、埋蔵文化財のき損、滅失等を回避することが出来ました。</p> <p>また、町内文化財及び地域の歴史、地名等に関する町内外からの問い合わせに対し随時対応したほか、峰崎官軍墓地の遺跡範囲について現状に沿った変更を行いました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>開発行為に伴う埋蔵文化財包蔵地の現地確認が適切に行われている。特に、埋蔵文化財のき損、滅失を回避するなどの対応がとられている。</p> <p>さらに、文化財に対する問い合わせに対しても、町内外の方に「歴史的文化財」を発信する丁寧な対応、説明が行われている。</p>		
教育委員会評価	A		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	文化財維持管理事業		
事業の概要	対 象	歴史的建造物、土木遺産、古文書、伝統芸能、風習等	
	目指すべき姿	町内に残る文化財の保存継承を図る。	
	具体的な事業内容	町内文化財の維持管理及び周知活動等に係る事業を行う。 ・指定文化財の維持管理（草刈・清掃・点検・修繕等） ・指定文化財の管理への謝金・郷土芸能団体への報奨金	
最終予算額	15,695千円	決算額	15,435,388円
事業の成果と課題	国史跡佐敷城跡をはじめ指定文化財の維持管理を定期的に行っており、適正な保存管理に努めています。佐敷城跡の史跡指定範囲地内については、斜面落石対策工事及び支障木伐採を実施し、隣接する民家を保護するとともに史跡指定範囲地内の保全を図りました。 令和2年7月豪雨災害で被災した町内遺跡出土物などの資料については、関係機関の協力を得ながら、引き続き保存処理を行いました。 また、指定文化財管理者及び郷土芸能保存団体へ、維持管理と保存継承に対する謝金の支払い及び峰崎官軍墓地説明板の新設を行いました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	重要な国史跡佐敷城跡や指定文化財の維持管理のために、斜面落石対策工事や支障木伐採など定期的に工事、作業が進められている。また、指定文化財管理者及び郷土芸能保存団体に維持管理と保存継承に対する謝金が支払われ、峰崎官軍墓地の説明板の設置など、保存し大切にしようとする町民への意識化が図られている。		
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		



## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	佐敷東の城跡調査事業		
事業の概要	対 象	佐敷東の城跡及びその周辺の関連遺跡	
	目指すべき姿	県内でも有数の中世山城とされる佐敷東の城跡（町指定史跡）の史跡としての価値を高め、町民の理解を深めるとともに、文化財に対する町民の意識の高揚を図る。	
	具体的な事業内容	佐敷東の城跡（町指定史跡）について将来的な国史跡指定に向けた総合的な調査を行う。 調査再開に向けた有識者会議を開催し、調査方針や事業計画に対する意見を取りまとめる。	
最終予算額	194千円	決 算 額	143,110円
事業の成果と課題	<p>平成26年度以来となる有識者会議を開催し、前回会議メンバーを一部変更して佐敷東の城跡現況確認及び調査計画の検討を行いました。</p> <p>現況確認ではヌタ場の拡大及び表土の流出など、現地で獣害が進行している状況を把握しました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>有識者会議において、佐敷東の城跡の現況確認や調査計画の検討が行われ、とくに、ヌタ場の拡大や表土の流失、獣害など現地の状況がよく把握されている。</p> <p>今後もさらに、価値ある中世の山城として国史跡指定に向けた資料の積み上げを期待したい。</p>		
教育委員会評価	B		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	文化財災害対策維持管理事業		
事業の概要	対 象	令和2年7月豪雨で被災した文化財及び文化施設、用具	
	目指すべき姿	令和2年7月豪雨で被災した文化財及び文化活動用具等の保存・継承を図る。	
	具体的な事業内容	令和2年7月豪雨で被災した地域コミュニティ施設の復旧を行う。 ・芦北町地域コミュニティ施設等再建支援事業補助金交付	
最終予算額	602千円	決 算 額	0円
事業の成果と課題	<p>令和2年7月豪雨で被災した文化財や地域コミュニティ団体所有の施設、用具について、熊本県の球磨川流域復興基金を活用して修復及び新調のための補助金交付を行うもので、町内1団体（市野瀬地区）から申請がありました。</p> <p>市野瀬地区が実施する市野瀬観音堂参道及び斜面の災害復旧工事に対し補助金を交付する予定でしたが、工事発注にあたり災害復旧工事が集中したことにより施工業者の手配調整に不測の日数が生じ、予定工期内に工事の完了が見込めなくなったため、令和5年度に事業を繰越しました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	C	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	令和5年度に工事が延期されたことは、残念なことであるが、球磨川流域復興基金を活用した修復は、市野瀬地区住民にとって喜ばしいことである。市野瀬観音堂参道及び斜面の早い復旧を願いたい。		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	文化芸術活動の推進		
事務事業名	文化振興事業		
事業の概要	対 象	町内在住者及び町内の団体、又は文化活動の拠点が芦北町である者	
	目指すべき姿	町内外の芸術団体の交流を促進するとともに、町民の文化、芸術活動への理解を深め、文化、芸術活動を行う者の意欲の向上を図る。	
	具体的な事業内容	九州大会以上の大会に出場する者に対し、経費の補助及び九州大会以上の大会で優秀な成績を残した者を表彰する。 ・芦北町文化振興事業補助金交付 ・芦北町文化振興奨励賞表彰	
最終予算額	2, 6 6 2千円	決 算 額	2, 1 5 3, 5 3 3円
事業の成果と課題	<p>令和4年度は7件（全国大会5件、九州大会2件）の大会出場者に補助金を交付し、周知の看板（2枚）を設置しました。</p> <p>また、文化、芸術部門での優秀成績者（7人）へ奨励賞を贈りました。</p> <p>□補助金：全国大会5件（5人）、九州大会2件（2人）</p> <p>□奨励金：金賞（全国大会）3人、銀賞（九州大会）3人、銅賞（県大会）1人</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>全国大会に5件、九州大会に2件の補助金交付、さらには文化、芸術部門優秀者7人への奨励賞など、活躍者に対する賞賛、奨励が適切に行われ、さらに意欲を高める意識化が図られている。また、看板の設置も町民に広報し、参加者の意欲の向上に繋がっている。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	文化芸術活動の推進		
事務事業名	文化祭開催事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	町の伝統文化や新しい文化を学んでもらい、心豊かな人間性を育てる。	
	具体的な事業内容	伝統芸能や町民の文化活動発表の機会を設けるとともに講演会を開催する。 ・町文化協会団体発表会 ・町民の各種作品展示 ・文化講演会	
最終予算額	1, 5 1 3千円	決 算 額	1, 4 0 6, 0 6 3円
事業の成果と課題	令和4年度の芦北町文化祭開催について、文化協会総会及び理事会で協会員から意見を聴取し、10月29～30日に3年ぶりに開催しました。 ステージ発表では15団体(214名)、作品展示では163名(ほか町内16施設)の発表のほか、町内学校関係作品として512点の展示がありました。 文化講演会では、俳優で気象予報士の石原良純さんを講師に、「天災に、心と知識で備えよう」と題して講演があり、約600名の方が聴講されました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討のなし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者	3年ぶりの芦北町文化祭の開催は文化協会を中心に、多くの出演者、作品出品者によって広く伝統芸能、芸術文化の発信が行われた。大人だけでなく、児童生徒の作品など町民すべての取り組みは伝統文化と新しい文化を学ぶ上で大切なことである。文化講演会の講演も、「防災」に視点を充てた内容は、多くの町民の生活に直接結びついたものであったと思う。		
教育委員会評価	B		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	星野富弘美術館の充実		
事務事業名	星野富弘美術館運営事業		
事業の概要	対 象	施設利用者	
	目指すべき姿	富弘作品による「いのちの尊さ・いのちの輝き」を通じて、人々に心の豊かさと生活への潤いをもたらす。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富弘作品の展示・収集・保存</li> <li>・富弘作品を通じた教育普及活動</li> <li>・富弘美術館との連携</li> <li>・美術館の広報</li> </ul>	
最終予算額	11,390千円	決 算 額	10,354,411円
事業の成果と課題	<p>令和4年度は、展覧会を5回開催しました。展覧会については、特別展に併せ季節の常設展も行いました。(4月、7月、9月、12月、3月)</p> <p>教育普及活動については、第16回詩画公募展を実施したところ、1,594点の作品が集まりました。また、あしきた青少年の家における集団宿泊研修校に対して出前講座などを行い、富弘作品をとおして「心の教育」の推進を図りました。1月には湯浦小学校において詩画制作体験の出前講座を行い、制作した作品は公募展へ出品されるとともに、芸術文化及び「心の教育」に関する意識の高揚を図ることができました。</p> <p>美術館資料としては、星野富弘ジクレー版画を三点購入し、収蔵作品の充実を図ることができました。</p> <p>美術館施設の維持管理については、避難口誘導灯をLEDに交換するなど、安全かつ効率的に対応するよう努めました。</p> <p>なお、入館者数は、前年度より10%増の4,729人となりました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>年5回の展覧会で、季節に合わせた常設展や特別展の開催、第16回目の詩画公募展の実施など、意欲的な取り組みが行われている。特に公募展の作品の多さに、富弘美術館の関心の高さを知ることができ、あしきた青少年の家や湯浦小出前講座を開設するなど、幅広い取り組みが実施されている。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	スポーツ振興支援事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	助成を行うことで、組織の強化や大会に出場しやすい環境を整え、競技スポーツの活性化を図る。	
	具体的な事業内容	競技力向上と育成強化を目的とした活動を行う団体等に対する補助。九州大会・全国大会に出場する監督及び選手に対する経費の補助。優秀な個人・団体・指導者の顕彰を目的とした「芦北町スポーツ賞」の交付。町外からスポーツ留学をしてきた中学生及び受け入れを行った団体等に対し、下宿費等の補助金を交付する。	
最終予算額	7,733千円	決算額	7,710,140円
事業の成果と課題	<p>社会体育クラブに育成強化費等を補助し、九州大会以上の大会に出場した選手・監督に大会参加補助を行うとともに、全国大会出場者は看板を設置し町民へ周知しました。また、一年間で最も活躍した選手・指導者に、スポーツ賞及び奨励金を交付し、町外からスポーツ留学をしてきた中学生及び受け入れを行った団体等に対し、下宿費等の補助金を交付しました。なお、大会出場補助やスポーツ賞奨励金については、大会等が再開され、前年に比べ実績が増加しました。</p> <p>社会体育クラブ育成補助金（12団体・259人）          大会出場補助金（九州大会134人・全国大会55人）          スポーツ賞奨励金（72人）          中学生スポーツ留学（4人・3団体）</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	競技スポーツの向上をめざして、社会体育クラブ育成補助金、大会補助金、スポーツ奨励金など、選手、監督の意欲の向上に繋がっている。また、中学生のスポーツ留学も勧められており、優秀なスポーツ選手の強化育成に繋がっている。今後もさらに、優秀な選手の発掘に向けて予算を講じてほしい。		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	温泉プール管理運営事業		
事業の概要	対 象	施設利用者	
	目指すべき姿	利用者の健康増進及び親睦と、体育・スポーツの振興を図る。	
	具体的な事業内容	利用者に安全かつ快適な利用環境を提供する。 ・施設の管理運営 ・各種教室の開催	
最終予算額	30,010千円	決 算 額	27,230,815円
事業の成果と課題	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の清掃・消毒の徹底を行うとともに、窓口では利用者に対しマスクの着用・検温を実施し、プール内や更衣室等では換気や利用者間の密を避ける対応を行いました。 令和4年度の町営温泉プールの利用者数は27,364人で、前年度26,601人に対し2.8%の増となりました。 なお、施設管理対策として、コインロッカー1台を更新しました。 最後に、施設の老朽化により、更新が必要なものを計画的に行い、今後も利用者が安全かつ快適に利用してもらうために、施設環境を整備して行く必要があります。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	施設の老朽化とコロナ禍でも、利用状況は前年度よりも向上しており、水泳を通じた体力作り健康作りが感じられる。また、施設の管理としての清掃や消毒と修理、利用者の検温、換気など徹底した安全対策も講じられている。 今後は、施設の改修を含めた環境整備に向けて早期に利用者、行政の意見をまとめてほしい。		
教育委員会評価	B		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	総合型地域スポーツクラブ活動支援事業		
事業の概要	対 象	クラブ利用者	
	目指すべき姿	町民が、年間を通して多種多様なスポーツを行い、体力向上・健康づくり・仲間づくりの場として活用できる組織、団体の確立を目指す。	
	具体的な事業内容	芦北町総合型地域スポーツクラブ（JKAトレジャークラブ）のスポーツ・レクリエーション活動等に対し補助金を交付する。	
最終予算額	2,540千円	決算額	2,400,000円
事業の成果と課題	<p>スポーツ学習教室（5教室）は、子どもから高齢者までいつでも・どこでも・だれでも楽しく参加できる環境が整えられ、町民の体力向上・健康づくり・仲間づくりに寄与することができました。また、育成教室（8教室）では、年々成果が表れ小中学生の競技力向上が図られています。</p> <p>令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動が制限される中ではありましたが、一定の会員数を確保することができました。 （会員数：214人、23人増）</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 （事業の効率性を高められるか）	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 （事業効果の配分や受益者負担は適切か）	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>スポーツ学習教室、育成教室ともに、子どもから大人まで楽しく参加できる環境が整備され、体力づくり、健康づくり、仲間づくりが主体的に実施されている。またコロナ禍でも、会員数の増加もあり多種多様な町民の健康スポーツ作りが推進されている。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		



## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	体育イベント開催事業		
事業の概要	対 象	イベント参加者	
	目指すべき姿	地域のコミュニケーションづくりや、日常的にスポーツに親しむきっかけを提供するとともに、競技力の向上を目指す。	
	具体的な事業内容	交流イベント、町民スポーツ大会陸上大会、熊日三太郎駅伝競走大会等の実施。	
最終予算額	709千円	決 算 額	213,121円
事業の成果と課題	<p>交流イベントのグラウンド・ゴルフ大会、野球大会、バレーボール大会、卓球大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、種目協会主催で開催することができました。3年ぶりに熊日三太郎駅伝競走大会を開催し、多くの皆さまが沿道から声援を送りました。トップアスリート合宿誘致事業については、東京オリンピック空手道形銀メダリストの清水希容選手を招聘し、実施しました。</p> <p>今後も引き続き、町民がイベントに参加できる機会の提供が必要と考えます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>各種の交流イベントや、3年ぶり開催の熊日三太郎競走大会など、多くの町民の声援を受けて盛大に実施されている。また、トップアスリート合宿誘致事業では、東京オリンピック空手道形銀メダリスト清水希容選手を招聘し、選手たちの意欲の向上に繋がっている。</p>		
教育委員会評価	B		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	芦北町スポーツ協会支援事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	町民のスポーツ人口の拡大と競技力向上を図る。	
	具体的な事業内容	スポーツ協会活動（各種町民スポーツ大会開催・郡民体育祭選手派遣・熊日三太郎駅伝競走大会選手派遣・県民体育祭選手派遣等）に対し補助金を交付する。	
最終予算額	5,469千円	決 算 額	4,569,000円
事業の成果と課題	<p>各種町民スポーツ大会は、水泳、ビーチボールバレー、陸上の3種目は中止となりましたが、他の9種目（グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、卓球、バドミントン、ソフトボール、野球、ゴルフ、クレール射撃、バレーボール）は開催することができました。</p> <p>熊本県民体育祭が11年ぶりに水俣・芦北地域で開催の予定でしたが、台風の影響により中止となりました。</p> <p>熊日三太郎駅伝競走大会、男女熊日郡市対抗駅伝へ選手を派遣し、新型コロナウイルス感染の影響はあったものの、力を発揮するよい機会となりました。</p> <p>なお、各種目競技の競技力低下を避けるため、地域体育協会や種目協会に対しても補助を行い選手の育成に務めました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>芦北町のスポーツ人口の拡大と競技力の向上をめざして、選手の各種スポーツ大会派遣に補助金を交付するなど、年々選手の意欲が高まっている。熊本県民体育祭芦北地域での開催は台風接近のため中止となり残念であったが、コロナ禍でも、熊日三太郎競走大会、男女熊日都市対抗駅伝など選手が積極的な走りでも好成績を修めている。</p>		
教育委員会評価	B		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	スポーツ推進委員協議会運営事業		
事業の概要	対 象	スポーツ推進委員	
	目指すべき姿	本町における、地域スポーツの振興を支える人材の資質向上と、スポーツ施策の活性化を図る。	
	具体的な事業内容	スポーツの指導者として、実技指導や各種スポーツ大会の実施、スポーツに関する指導・助言・普及を行う。 ・年6回の定例会の開催・広報紙1回の発行 ・各種研修会への参加 ・主催事業の開催及び町事業への積極的参加・協力	
最終予算額	1,167千円	決 算 額	671,340円
事業の成果と課題	スポーツ推進委員会議は3回開催しましたが、主催事業のイベント（ラケットテニス大会、ドッジビー大会）については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。 広報活動では、スポーツ推進委員の活動をより身近に知ってもらうため、ホームページやSNSによる周知を行うとともに、芦北町の広報紙にも掲載しました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	スポーツ推進委員会議でのイベント大会は、コロナ禍のため中止となったことは止むを得ないことである。一方、広報活動を通して、ホームページ、SNS、町広報誌でスポーツ推進委員の活動を紹介するなど「スポーツの町づくり」が啓発されている。		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	体育施設管理運営事業		
事業の概要	対 象	施設利用者・町民総合センター及び各体育施設	
	目指すべき姿	利用者の健康増進及び親睦と、体育・スポーツの振興を図る。	
	具体的な事業内容	町民総合センター及び各体育施設を安全、安心して利用できるよう管理、運営を行う。 ・町民総合センター改修工事(特定天井・電気設備・機械設備) ・地域間交流スポーツグラウンド照明設備改修工事	
最終予算額	607,360千円	決算額	588,276,397円
事業の成果と課題	町民総合センターを中心に、各体育施設と夜間学校体育施設の適切な維持管理運営を行いました。なお、町民総合センターは特定天井等の改修工事が令和4年5月末日に完了し、6月から一般利用を再開しました。 また、地域間交流スポーツグラウンドの照明を水銀灯からLED照明へ更新し、利便性の向上を図りました。 各体育施設は老朽化により、今後も施設や設備等、多額の予算を伴う修繕が必要となることから、計画的に改修を行い、利用者の安全を第一に管理運営を行っていく必要があります。 町民総合センター利用者数：41,936人(テニスコート・弓道場・アチェリ場を含む) その他各体育施設利用者数：75,280人		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	町民総合センターの特定天井板の改修工事や地域間交流スポーツグラウンドのLED照明の更新など、利用者の安全を最優先にした改修が行われた。今後も各体育施設の老朽化に伴い、順次計画的に改善を進めていただきたい。		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	地域資源活用総合交流促進施設管理運営事業		
事業の概要	対 象	施設利用者	
	目指すべき姿	施設の利用を促進することで、文化・スポーツ等による交流人口の増加を図る。	
	具体的な事業内容	施設を安全かつ快適に利用できるよう管理、運営を行う。	
最終予算額	4,830千円	決 算 額	3,889,641円
事業の成果と課題	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、まん延防止等重点措置の適用や熊本県のリスクレベルに応じた対応を行いました。</p> <p>今後は、周辺の体育施設との連携並びに職場や学校行事による利用促進など、より多様な利用形態を目指し、更なる関係人口の増加を図っていく必要があります。</p> <p>また、特定避難所として、利用者の利便性の向上に努める必要があります。</p> <p>交流センター利用者数：10,019人（うち宿泊利用：97人）</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>交流センターの活用については、コロナ感染防止のために県のリスクレベルに応じた安全第一の適切な対応がとられている。</p> <p>今後も、施設利用の安全を最優先に職場や学校行事での利用促進をお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

